

人間の心の相を大別すると、オカメとヒョットコに分けられると思うのです。一般的には男女の相として区分していますが、視点を変え心の相の問題として考えてみる事にします。

両面とも耳が二つに目が二つ、口と鼻は一つずつで機能的には同じですが、形相が著しく異っている事に注目したいのです。オカメの面は耳が大きく、口は小さく、目は半眼であるのに対してヒョットコの面は、耳は小さく、口はとんがり、目は大きくギョロギョロしています。

面相は機能の象徴という捉えから考えてみますと、形が異るといふ事は、各機能の中味が異なる事を意味しています。

オカメの面相から感じる事は、多くの人の声を聞き（大きな耳）必要以上の事は語らず（小さな口）達観し（半眼）ているのに対し、ヒョットコの面相は、他人の声を無視し（小さな耳）自己主張をし（とんがった口）周囲の人々の迷惑も考えないで向きになっている（ギョロ目）時の姿のように映じるのです。

日頃の私の姿はと静かに自分に問いかけますと、ヒョットコの姿が多い事に気がつきます。

目の相、口の相も基は耳（聞く）を通して変貌するようです。洗耳という言葉もあります。耳を洗い、小さな耳を中味の大きな耳になるようご聴聞したいものです。